

令和2年度

(前期) 学校評価の集計結果から

8月に実施しました
前期の学校評価アンケート。
学校の教職員で集計結果を分析し、
さらに、10月8日の学校運営協議会で
委員の皆さんと集計結果をみながら
考察を行いました。

以下の考察を参考にして
今後の教育活動の可能性を
さらに探っていきたいと考えています。

※ 集計結果の全容については、
別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

【学校に関わること】

- ・ アンケート実施後、すでに学校は次の段階の指導を始めており、こどもの挨拶の様子が変わってきていることは〇
- ・ オンラインの環境が整っているなら、活用するとよい
- ・ 少人数なので他校との交流学习を、積極的にするとよい
- ・ 学校がしていることをもっと見える化すべき

- ・ 少人数であるがために、過保護になりすぎていないか注意しないといけない
- ・ いじめがないという児童の結果に安心しないようにすること
- ・ 分園との交流は増やせるのではないかな？
- ・ 重点取組事項について児童自身が自分をふり返る機会を設けるとよい。
- ・ インタビューする側になる場を作るとよい

【家庭に関わること】

- ・ 早寝・早起きの習慣が身につけていないことが気になる
- ・ あいさつは保護者が率先してすると良い
- ・ 家庭でも外遊びを奨励するとよい

- ・ 大人が昔の遊びを紹介する機会を作る
- ・ 子どもも忙しく、手伝いをするのできる時間が少なくなっている？
- ・ 家庭でも、手伝いにはお礼を、役割分担には評価を、それぞれするよう心がける

【地域に関わること】

- ・ 地域の方の「わからない」の回答がへるよう努力すべき
- ・ 地域の方が学校に来やすくするしかけが必要
- ・ ふるさと学習に力をいれてほしい。地域で行っている神楽への子どもの参加は伝統を引き継ぐという意義がある。

- ・ 各農業法人を訪問し学習してはどうか
- ・ 地域の方の名前と顔が一致しないのは保護者もいっしょ
- ・ 各分野の特徴ある人を巻き込むとよい
- ・ 広報紙や各局の報道等を積極的に活用すべき
- ・ 活動自粛の中ではあるが、工夫して場を作る
- ・ 児童全員が地域が大好きであることが嬉しい